

ノックの取扱について

- 安全のために -

近年、アーチェリー用のノックに対する質問を多くいただくようになりました。その中で安全に関連するような内容の質問もありましたので、簡単にまとめることにしました。

1、ノックの耐久年数について

質問内容【通常ノックはどれくらいの期間に渡って同一のものを使用できますか？】

回答：

これに対しては一概にどれくらいの期間というものはありません。使用の状態によって大きく変化します。傾向として弓のチューニングが適切ではない、ノックと弦の太きがあってないなどの状況ですとノックの破損率が高い傾向に見られます。

実数データはありませんが、弊社では1年くらいでノックを交換することをお勧めしています。それ以降は異常がみられることが多くあります。

2、ノックの交換目安について

質問内容【他のショップなどでもこのノックは交換した方が良いといわれることがあります。見た目は問題ないのですが、何か目安はあるのでしょうか？】

回答：

プロショップが交換を進める場合ですと下記の可能性があります。

・ノックにひびが入っている

一目見ただけではわからないことが多いですが、ノックを光に透かして見てみると割れていることがあります。そのまま行射すると発射時にノックが割れて矢が予想外の方向に飛んでいくこともあります。

・ノックが歪んでいる

シャフト本体に対してノックが歪み、斜めに接するようになっている状態の可能性があります。そのまま行射すると矢が破損し、大きな事故に繋がる可能性があります。

・ノック溝が広がっている

弦の挟み込むノック溝が使用に伴って広がっている状態の可能性があります。弦がノックを送り出す際に、まっすぐ力を伝えられない可能性があります。

以上のようにノックを適切に管理しないと事故に繋がる可能性があります。競技者として自身の弓具の最低限の安全を保ちましょう。

2019/6 FIVICS JAPAN/Kumas Archery accessory